



JASDAQ

平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 山口 侑男
(JASDAQ・コード 6635)
問合せ先
役職・氏名 代表取締役副社長兼務経営企画長
為崎 靖夫
電話 (0288) 26-3930

業績予想の修正、および 減損損失等（連結）、

関係会社株式評価損（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月期通期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の決算において、減損損失（連結）および関係会社株式評価損（個別）を特別損失として計上する見込みであるとともに、最新の業績動向をふまえて、平成 27 年 11 月 10 日付けで開示いたしました平成 27 年 12 月期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回予想 (A)	32,000	35	△390	△430
今回修正 (B)	32,064	△246	△664	△1,333
増減額 (B-A)	64	△281	△274	△903
増減率	0.2%	-	-	-
(ご参考)				
平成 26 年 12 月期実績	34,581	379	258	39

2. 修正の理由

売上高は、国内外において、オフィス・ビジネス機器用が需要低迷している中、オフィス・ビジネス機器用が中心の海外では中国等新興国景気低迷の影響を受け減産となった一方で、国内は産業機器用、遊技機用が堅調に推移したため、連結で 32,064 百万円（前回予想比+64 百万円）となる見込みであります。

損益面は、第4四半期における中国の連結子会社2社の主要販売先の急減産が主因で、前回予想を大きく下回る営業利益△246百万円（前回予想35百万円）、経常利益△664百万円（前回予想△390百万円）となる見込みであり、さらに下記の通り特別損失を計上することから当期純利益は△1,333百万円（前回予想△430百万円）を見込んでおります。

上記の予想は公表日現在で入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後起こりうる様々な要因によって実際の業績は異なることがあります。

3. 減損損失等（連結）

中国の連結子会社である、New Trois Electronics (Shenzhen)Ltd.および Trois Electronics (Wuxi) Co., Ltd.の2社において、平成27年第4四半期にオフィス・ビジネス機器用の主要販売先の中国内における在庫調整が主因で大幅な減産となったことに伴い、2社の保有する機械装置等の固定資産につきまして、合計497百万円の減損損失を特別損失として計上いたします。

さらに、老朽化した設備の除却・売却を行ったことに伴い固定資産除売却損を特別損失として139百万円計上いたします。

中国連結子会社2社におきまして多額の減損損失等を計上することといたしますが、2社ともに当社グループの事業戦略上重要な生産拠点であり、中国等新興国経済の今期の見通しは楽観出来ないものの、構造改革による、顧客多層化、合理化と生産効率を押し進め、車載、産業機器、社会生活・インフラ向けユニットの生産強化により、早期の業績回復を図ってまいります。

4. 関係会社株式評価損（個別）

上記、Trois Electronics (Wuxi) Co., Ltd.の減損損失、および、平成27年11月10日付「営業外費用（持分法による投資損失）の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、タイも持分法適用関連会社であるTrois Takaya Electronics (Thailand) Co., Ltd.の業績が悪化していることに伴う当期純損失の計上により、両社の株式の実質価額が著しく低下することとなるため、合計995百万円の関係会社株式評価損を計上いたします。

なお、Trois Electronics (Wuxi) Co., Ltd、Trois Takaya Electronics (Thailand) Co.,Ltd.株式にかかる関係会社株式評価損につきましては、連結決算上相殺消去されます。

5. タイの持分法適用関連会社の減損処理に伴う営業外費用（連結）

上記、タイの持分法適用関連会社であるTrois Takaya Electronics (Thailand) Co., Ltd.の当期純損失計上に加えて、のれん相当額44百万円を減損処理した結果、持分法による投資損失324百万円を営業外費用として計上いたします。

以上